

IV ちいきづくり分野

柱1 地域に住み続けられる支援の推進【高齢者福祉】

高齢者が生きがいをもって安心して暮らしている

柱2 障害者が生き生きと暮らせる支援の推進【障害者福祉】

障害者が自立し、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して暮らしている

柱3 地域で支え合う生活支援のための体制の確保 【生活支援・福祉活動】

行政と社会福祉団体や民生委員が有機的に連携し、生活困窮者などの支援を行っている

柱4 誰もが活躍できる健康な生活の確保【健康づくり】

自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている

柱5 保険年金制度の健全な運営【保険年金】

保険年金制度が健全に運営され、もしもの場合の生活の不安が軽減され、安心して暮らしている

柱6 安心・安全な地域づくりの推進 【防災・交通安全・地域防犯】

災害や犯罪への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている

柱7 市民の安心を守る消防・救急体制の充実【消防・救急】

消防・救急体制が整い、市民が安心・安全に暮らしている

まちづくり評価シート

IV	ちいきづくり分野	R6担当部・課
柱1	地域に住み続けられる支援の推進 － 高齢者福祉 －	ふくし部 地域ふくし課 介護保険課

1、まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標

高齢者が生きがいをもって安心して暮らしている

指標名	高齢者が、生きがいをもち、自立して暮らしていると感じる市民の割合							
	H28 (基準値)	単位	R5	実績値の分析				
目標値	－	%	20.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から3.3%増加し22.5%となった。 高齢者が生きがいをもち、自立して暮らしていけるよう、介護予防の取り組みを実施するとともに、地域での取り組みを支援したことで、市民へ介護予防の意識向上につながった。				
実績値	19.2		22.5					
達成率 (達成状況)		%	112.5 					

個別目標 ①

高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている

≪R6担当課≫介護保険課

指標名	高齢者人口に占める健康を保って暮らしている高齢者の割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	86.6	86.6	86.6	86.6	86.6	86.6
実績値	86.6		85.9	85.4	85.1	84.8	84.4	83.9
達成率 (達成状況)		%	99.2 	98.6 	98.3 	97.9 	97.5 	96.9

個別目標 ②

高齢者が在宅で安心して暮らしている

≪R6担当課≫地域ふくし課

指標名	高齢者の在宅生活のための福祉サービスが充実していると感じる市民の割合							
	H29 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	23.0
実績値	16.6		－	－	－	－	－	15.0
達成率 (達成状況)		%	－	－	－	－	－	65.2

指標名		要介護認定の居宅サービス利用者の割合 *						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	62.8	62.8	62.8	64.9	64.9	64.9
実績値	62.8		62.6	64.9	63.6	65.1	66.8	67.2
達成率 (達成状況)		%	99.7 	103.3 	101.3 	100.3 	102.9 	103.5

個別目標 ③ 高齢者が生きがいをもって充実した生活を送っている

指標名		社会参加している高齢者の割合						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	—	—	34.1	—	—	36.0
実績値	34.1		—	—	22.3	—	—	23.6
達成率 (達成状況)		%	—	—	65.4 	—	—	65.6

指標名		地域活動に参加している高齢者の割合 *						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	28.7	28.7	28.7	47.2	47.2	47.2
実績値	28.7		47.1	47.2	47.3	46.8	44.5	40.9
達成率 (達成状況)		%	164.1 	164.5 	164.8 	99.2 	94.3 	86.7

主な事務事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
介護認定事業	介護認定申請後、認定調査を行い、調査結果と主治医意見書をもとに、介護認定審査会を開催し、審査会の審査及び判定結果に基づき、認定を行った。
★ 地域支援事業	日常生活圏域3圏域に地域包括支援センターを設置するとともに、生活支援体制整備事業による生活支援コーディネーターを配置した。 足腰弱らん教室やちいきのきょうしつなどの介護予防教室、介護予防・日常生活支援総合事業、在宅医療・介護連携推進事業等の事業を実施した。
介護保険事業者指定及び指導事業	利用者が適正なサービスを受けることができるよう、サービス提供事業者に対し、支援による質の確保や運営指導等を行った。
★ 日常生活支援事業	高齢者が安心した居宅生活を送ることができるよう、緊急通報装置の設置運営や高齢者住環境改善助成などを実施した。
要支援高齢者等援助事業	要介護状態になった高齢者等が安定した居宅生活を送ることができるよう、在宅ねたきり老人に対して紙おむつの購入助成を行うとともに、同居家族の介護者に慰労金を支給した。
高齢者生きがい促進事業	高齢者が生きがいを持ち、充実した生活を送ることができるよう、シルバー人材センターや老人クラブ等への補助を行った。 60歳以上の高齢者を対象に、健康づくり、生きがいづくり、仲間づくりのため高齢者教室を開催した。
高齢者福祉施設等維持運営事業	高齢者への就業機会の提供や地域社会におけるコミュニティ活動の促進を図るため、高齢者生きがい活動センター、老人福祉センター及び中央コミュニティ・センターを運営した。
敬老事業	市民の敬老精神の高揚を図り、長寿を祝うことを目的として75歳や結婚50周年を迎えた方に記念品を、100歳の方に百寿章を贈呈した。

2、市民協働の推進状況

市民協働事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
日常生活支援事業	高齢者地域見守り協力協定を結んだ事業所と協働し、高齢者の日常生活の見守りを行った。
高齢者生きがい促進事業	老人クラブの活動を支援し、地域を基盤とする高齢者の自主的な活動を促進した。 また高齢者教室において、第1から第4教室それぞれで、運営費の徴収や教室のあり方を話し合い、市はそれに助言や各教室ごとに依頼することが難しい講師依頼をし、協力して事業を行った。

3、まちづくり評価の結果


<p>得られた成果 (優良点)</p>	<p>携帯型緊急通報装置の導入 ・ひとり暮らし高齢者等の急病、事故等の緊急事態に対応するため、コールセンターにダイレクトで通報することができる緊急通報装置の設置の推進に努めた。また、固定電話を必要としない、携帯型の緊急通報装置を令和4年11月から導入した。</p> <p>介護施設等の整備事業費の補助 ・介護施設等の整備及び開設時から質の高いサービスを提供するための体制整備、既存の介護施設の改修等を支援した。</p>
<p>今後の課題 (問題点)</p>	<p>高齢化の進行と単身高齢者の増加 ・高齢化の進行に伴い、特に後期高齢者の増加が見込まれる。また、核家族化等の影響も加えられ、単身高齢者が増える見込みとなっている。こうしたことから、高齢者の地域生活においては医療・介護をはじめ、さまざまな分野にまたがる複雑化・複合化した課題が生じている。</p>
<p>今後の方向性 (改善点)</p>	<p>地域包括ケアシステムの一層の推進 ・高齢者が重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を営むために地域包括ケアシステム（医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制）を一層推進する必要があり、要支援・要介護者のニーズの把握とともに、地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を支援する必要がある。</p> <p>重層的支援体制整備事業の実施 ・高齢者が抱える複雑化・複合化した課題に対応するため、「包括的相談支援」「参加支援事業」「地域づくり事業」等の事業を一体的・重層的に整備する重層的支援体制整備事業を実施し、制度の狭間に陥らせることのない支援制度を構築する必要がある。</p> <p>生活支援サポーター養成研修の実施 ・必要な介護ニーズを捉えつつ、介護サービス事業者と連携を図り、中長期的な視点で介護提供体制の確保を推進するため、介護人材の養成を実施していく。</p>


まちづくり評価シート

IV	ちいきづくり分野	R6担当部・課
柱2	障害者が生き生きと暮らせる支援の推進 － 障害者福祉 －	ふくし部 地域ふくし課 ふくし支援課 健康こども部 こども未来課

1、まちづくり（成果目標）の達成状況







全体目標	障害者が自立し、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して暮らしている
-------------	---

指標名	障害のある人が地域で生き生きと生活していると感じる市民の割合						
	H28 (基準値)	単位	R5	実績値の分析			
目標値	－	%	40.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から1.8%減少し19.5%となった。 共生社会を実現するための、障害者の社会参加の機会の確保が課題となっているが、新型コロナウイルス感染症拡大による活動機会の減少も影響した結果と考える。			
実績値	21.3		19.5				
達成率 (達成状況)		%	48.8 				

指標名	障害のある人にとって相談支援体制が整っていると感じる市民の割合						
	H28 (基準値)	単位	R5	実績値の分析			
目標値	－	%	40.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から0.8%増加し19.2%となった。 基幹相談支援センターをはじめ、障害のある人への相談支援体制は充実化してきており、当事者からの認知度は高まっている。しかしながら、障害がない市民にとっては自身に直接関係ないことから、認知度が高くないことが考えられる。			
実績値	18.4		19.2				
達成率 (達成状況)		%	48.0 				

個別目標 ①	地域での福祉活動が行われ、障害者などが住み慣れた家庭や地域で安心・安全に生活している
---------------	---

≪R6担当課≫地域ふくし課

指標名	基幹相談支援センターへの相談件数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	1,420	1,435	1,460	1,475	1,490	1,500
実績値	1,409		1,331	1,361	1,438	1,061	1,376	1,347
達成率 (達成状況)		%	93.7 	94.8 	98.5 	71.9 	92.3 	89.8 

指標名		成年後見制度利用支援件数						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	件	2	3	5	7	9	10
実績値	1		2	2	2	1	1	0
達成率 (達成状況)		%	100.0 	66.7 	40.0 	14.3 	11.1 	0.0

個別目標 ②

障害者が日常生活の支援を受け、能力にあった就労・社会参加をし、生活しやすい社会環境が整備されている

指標名		就労継続支援及び就労移行支援サービスの利用人数						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	185	187	190	193	196	200
実績値	182		221	235	245	264	287	326
達成率 (達成状況)		%	119.5 	125.7 	128.9 	136.8 	146.4 	163.0

指標名		共同生活援助（グループホーム）の利用人数						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	46	49	51	54	57	60
実績値	44		56	68	75	83	89	104
達成率 (達成状況)		%	121.7 	138.8 	147.1 	153.7 	156.1 	173.3

個別目標 ③

障害児が療育支援や発達支援を受け、社会的に自立することができる

指標名		通所支援サービス（児童発達支援など）の利用人数						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	214	215	216	217	218	220
実績値	213		266	282	312	381	445	523
達成率 (達成状況)		%	124.3 	131.2 	144.4 	175.6 	204.1 	223.7

主な事務事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
★ 地域福祉活動推進事業	地域住民の地域福祉意識の醸成を図るため、地域福祉推進シンポジウムおよび地域福祉懇談会を開催した。
★ 地域福祉計画策定事業	令和5年度で計画期間が満了する第1次地域福祉計画を更新し、重層的支援体制整備事業実施の取組みを踏まえ、第2次地域福祉計画を策定した。
基幹相談事業	社会福祉士を任用し、市役所窓口における相談体制を充実化するとともに、江南市社会福祉協議会へ委託して基幹相談支援センターを設置した。
自立支援給付事業	個々の障害のある人々の障害程度や勘案すべき事項を踏まえ、個別に必要な「障害福祉サービス」の支給決定を行った。
わかさ園維持運営事業	発達に不安のある児童や、発達や身体の成長に遅れがあると思われる児童に対しては、療育を通して、その保護者の方には、親子のよりよい関係づくりの支援を行った。

2、市民協働の推進状況

市民協働事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
基幹相談事業、自立支援給付事業	障害者が抱える課題は複雑化・複合化しているため、重層的支援体制整備事業の実施に向けた検討を進めた。

3、まちづくり評価の結果

得られた成果 (優良点)	<p>障害福祉サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスが必要な方に対して、適切にサービスの提供を行い、目標値を大幅に上回る実績となった。 (就労継続支援・就労移行支援サービスの利用人数 H28 : 182人→R5 : 326人) (共同生活援助(グループホーム)の利用人数 H28 : 44人→R5 : 104人) (通所支援サービス(児童発達支援など)の利用人数 H28 : 213人→R5 : 523人)
今後の課題 (問題点)	<p>障害のある人にとって相談支援体制が整っていると感じる市民の割合の低迷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民満足度調査の結果から、指標は微増はしているものの目標値と比較すると低迷している。基幹相談支援センター等の相談支援体制が充実化しており、また障害福祉サービスの提供は増加していることから、サービスを利用している方からは一定の満足が得られていると思われるが、一方で、サービスを必要としない市民には自身は利用することがないことから、認知度が低いことが考えられる。 (H28 : 18.4%→R5 : 19.2%)
今後の方向性 (改善点)	<p>包括的相談支援体制の構築による、相談支援体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の有無や年齢など、属性によらない包括的相談支援体制を構築し、伴走型相談支援によりニーズを掘り起こすとともに、これまで認知されてこなかった方へ相談支援を提供することで、より一層の相談支援体制の充実化を図る。また、サービスを必要としない市民からの認知度を高めるため、周知に努める。

まちづくり評価シート

IV	ちいきづくり分野	R6担当部・課
柱3	地域で支えあう生活支援のための体制の確保 － 生活支援・福祉活動 －	ふくし部 地域ふくし課 ふくし支援課

1、まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標

行政と社会福祉団体や民生委員が有機的に連携し、生活困窮者などの支援を行っている

指標名	必要なときに地域で支え合う体制が整っていると感じる市民の割合							
	H29 (基準値)	単位	R5	実績値の分析				
目標値	-	%	30.0	令和5年度の実績値は、平成29年度の基準値から1.4%減少し26.1%となった。 高齢者・障害者・子ども子育て・生活困窮など、各福祉分野における福祉サービスは充実してきているが、福祉サービスを必要としていない市民には自身は利用することがないことから、認知度が高くないことが考えられる。				
実績値	27.5		26.1					
達成率 (達成状況)		%	87.0 					

個別目標 ①

被災者や生活困窮者などが支援を受け、自立している

≪R6担当課≫ふくし支援課

指標名	保護の廃止世帯数（死亡を除く）							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	-	件	30	30	30	30	30	30
実績値	28		38	56	38	31	26	30
達成率 (達成状況)		%	126.7 	186.7 	126.7 	103.3 	86.7 	100.0

個別目標 ②

生活保護世帯の生徒が学習支援を受け、確実に高校に進学している

≪R6担当課≫ふくし支援課

指標名	生活保護世帯の高校進学率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	-	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0
達成率 (達成状況)		%	100.0 	100.0 	100.0 	100.0 	100.0 	0.0

個別目標 ③

社会福祉関係団体などが地域の福祉活動を積極的に行っている

「R6担当課」地域ふくし課

指標名		社会福祉関係の団体数						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	団体	15	15	16	17	17	18
実績値	14		14	14	13	12	12	14
達成率 (達成状況)		%	93.3 	93.3 	81.2 	70.6 	70.6 	77.8

「R6担当課」地域ふくし課

指標名		社会福祉関係の参加人数						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	人	190	200	210	220	220	250
実績値	184		177	154	165	152	164	268
達成率 (達成状況)		%	93.2 	77.0 	78.6 	69.1 	74.5 	107.2

個別目標 ④

生活困窮者や高齢者などは、民生委員などの支援を受け、問題を解決し、安定した生活をしている

「R6担当課」地域ふくし課

指標名		民生委員が相談を受け、支援した件数						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	件	2,450	2,480	2,510	2,540	2,540	2,600
実績値	2,447		1,877	2,139	1,207	2,209	2,507	2,789
達成率 (達成状況)		%	76.6 	86.2 	48.1 	87.0 	98.7 	107.3

主な事務事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
生活保護事業	生活困窮者の状況に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立への援助を図った。
生活困窮者住居確保給付金給付事業	生活困窮者に対して住居確保給付金を給付し、安定した住まいの確保に努めた。
被保護者就労支援事業	生活保護受給者に対する就労意欲の喚起と就労支援を行うことで、生活保護受給者の自立への援助を図った。
生活困窮者自立相談支援事業	生活困窮者に対して包括的・継続的な相談支援等を行うため、江南市社会福祉協議会へ委託して生活困窮者相談窓口を設置した。
社会福祉関係団体育成事業	社会福祉関係団体の活動を支援するとともに、市民に対して団体の周知に努めた。
障害者団体育成事業	障害者団体の活動を支援するとともに、市民に対して活動の周知に努めた。
民生委員事業	民生委員に協力して、高齢者・障害者・児童・母子世帯等の要援護者に対する相談支援や見守り活動に努めた。

2、市民協働の推進状況

市民協働事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
生活保護事業、生活困窮者自立相談支援事業	行政のみでの対応が困難な問題について、民生委員や病院、地域包括支援センターなどの関係機関と課題を共有し、解決に向けて協力して対応した。
社会福祉関係団体育成事業	社会福祉関係団体の活動を支援するとともに、市民に対して団体の周知に努めた。
民生委員事業	民生委員に協力して、高齢者・障害者・児童・母子世帯等の要援護者に対する相談支援や見守り活動に努めた。

3、まちづくり評価の結果


得られた成果 (優良点)	保護の廃止世帯数（死亡除く） ・生活保護世帯の状況に応じて必要な保護を行うことで、目標値を達成した。 (H28：28件→R5：30件)
今後の課題 (問題点)	必要なときに地域で支えあう体制が整っていると感じる市民の割合の低迷 ・生活困窮者などが必要な支援を受けるための相談に至っていないことが推測される。 (H29：27.5%→R5：26.1%)
今後の方向性 (改善点)	包括的相談支援体制の構築による、相談支援体制の強化 ・生活困窮者の中にはひきこもり・傷病・障害・精神疾患・DV・多重債務・8050問題・ホームレスなどの多様な問題を抱える者が多く、また世帯の中にそれらを複雑に抱えるケースが増えている。包括的相談支援体制の構築により、これらの多様で複合的な問題に対応することで、市民満足度の向上を図る。

まちづくり評価シート







IV	ちいきづくり分野	R6担当部・課
柱4	誰もが活躍できる健康な生活の確保 － 健康づくり －	健康こども部 健康づくり課

1、まちづくり（成果目標）の達成状況







全体目標	自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている
-------------	-------------------------------

指標名	健康づくりに取り組んでいる市民の割合							
	H29 (基準値)	単位	R5	実績値の分析				
目標値	－	%	80.0	令和5年度の実績値は、平成29年度の基準値から31.7%減少し37.4%となった。 新型コロナウイルス感染症拡大や気候変動の影響による熱中症対策のため、市民の外出機会が制限され、スポーツ等の身体活動が減少したことが影響したと考えられる。				
実績値	69.1		37.4					
達成率 (達成状況)		%	46.8 					







個別目標 ①	自らが疾病予防に取り組んでいる
---------------	------------------------

指標名	肺がん検診精密検査受診率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	73.9	74.8	75.6	76.8	77.9	79.0
実績値	73.1		88.5	82.5	84.8	88.5	79.8	84.4
達成率 (達成状況)		%	119.8 	110.3 	112.2 	115.2 	102.4 	106.8 

指標名	大腸がん検診精密検査受診率							
------------	---------------	--	--	--	--	--	--	--

	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	75.5	75.9	76.3	76.9	77.5	78.0
実績値	75.1		74.2	72.0	77.0	79.6	78.0	83.9
達成率 (達成状況)		%	98.3 	94.9 	100.9 	103.5 	100.6 	107.6 

指標名	こうなん健康マイレージ優待カード交換者数							
------------	----------------------	--	--	--	--	--	--	--

	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	440	510	570	620	660	690
実績値	269		342	311	246	191	249	300
達成率 (達成状況)		%	77.7 	61.0 	43.2 	30.8 	37.7 	43.5 

個別目標 ②

必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している

指標名	予防接種（高齢者のインフルエンザ）接種率							
-----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--

	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	58.0	58.4	58.8	60.0	59.6	60.0
実績値	57.2		55.2	58.1	71.1	65.1	70.3	63.7
達成率 (達成状況)		%	95.2 	99.5 	120.9 	108.5 	118.0 	106.2

指標名	予防接種（高齢者用肺炎球菌）接種率							
-----	-------------------	--	--	--	--	--	--	--

	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	52.0	52.3	52.8	53.0	53.3	53.6
実績値	51.7		48.3	49.0	31.0	26.5	24.2	24.1
達成率 (達成状況)		%	92.9 	93.7 	58.7 	50.0 	45.4 	45.0

個別目標 ③

母子が健康保持に積極的に取り組み、母子ともに健康に暮らしている

指標名	乳児家庭全戸訪問の実施率							
-----	--------------	--	--	--	--	--	--	--

	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	↑	↑	↑	↑	↑	↑
実績値	95.2		95.0	96.8	85.9	92.5	95.8	99.1
達成率 (達成状況)		%	99.8 	101.7 	90.2 	97.2 	100.6 	104.1

指標名	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合 *							
-----	------------------------	--	--	--	--	--	--	--

	H29 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	—	86.1	90.0	91.3	92.5	93.9
実績値	82.5		—	91.1	83.9	79.7	84.4	78.3
達成率 (達成状況)		%	—	105.8 	93.2 	87.3 	91.2 	83.4


個別目標 ④

市民が安心して医療を受けている







指標名	かかりつけ医をもっている市民の割合							
-----	-------------------	--	--	--	--	--	--	--

	H29 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	—	—	—	—	—	↑
実績値	70.4		—	—	—	—	—	69.9
達成率 (達成状況)		%	—	—	—	—	—	99.3

指標名	病院などの医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合
------------	----------------------------------

	H29 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	71.0
実績値	69.1		－	－	－	－	－	56.4
達成率 (達成状況)		%	－	－	－	－	－	79.4 

指標名	休日急病診療所受診数（インフルエンザを除く） *
------------	--------------------------

	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
実績値	2,033		2,079	2,379	595	677	1,300	1,810
達成率 (達成状況)		%	104.0 	119.0 	29.8 	33.9 	65.0 	90.5 

主な事務事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
健康管理事業	がん検診、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診、フレッシュ健康診査及び節目年齢歯科健康診査を実施した。 こうなん健康ガイドの戸別配布によるがん検診等の周知啓発を実施した。
★ 健康推進事業	健康教室、依頼による出張型健康教育（健康よもやま塾）、健康相談、8020・9018歯の健康表彰、熱中症対策、健康ボランティア活動支援などを実施した。 健康マイレージアプリ「あいち健康マイレージ」を導入した。
予防接種事業	乳幼児、児童生徒及び高齢者の定期予防接種、風しん追加的対策に係る風しん抗体検査及び予防接種、中3高3インフルエンザ、带状疱疹ワクチンの助成を実施した。
母子健康管理事業	医療機関に委託し、妊婦・産婦・乳児健康診査を実施した。 4か月児・1歳6か月児・3歳児に保健センターにて集団健診を実施した。
母子保健事業	親子に対し、健康・栄養・歯科・子育てに関する健康教育、育児相談、家庭訪問を行い、知識の普及を行った。
★ 子育て世代包括支援センター運営事業	母子保健コーディネーターを配置し、出産医療機関等と連携し、妊娠・出産・子育てに関する情報提供・助言・相談を行った。産後ケア事業を実施した。 伴走型相談支援、出産・子育て応援給付金を実施した。
休日急病診療所維持運営事業	日曜日、祝日、年末年始の急病患者に対し、内科、小児科、外科及び歯科の診療を実施した。また、愛知県と医療措置協定を締結し発熱外来を実施した。
★ 地域医療推進支援事業	第2次救急医療を行う医療機関、小児救急医療、尾北看護専門学校に対して補助金を交付した。
江南厚生病院建設費補助事業	愛知県厚生農業協同組合連合会が開設する江南厚生病院の建設に係る工事費及び関連工事費並びに高度医療機器の購入費に対し、補助した。

2、市民協働の推進状況

市民協働事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
健康推進事業	健康ボランティア（フットケアグループ及び食生活改善グループ）の活動支援を行った。フットケアグループは、定例会、定例活動を36回実施した。食生活改善グループは、全体会、自主活動等を27回実施した。
予防接種事業	地域医療を支える（一社）尾北医師会と予防接種事業委託契約を締結し、尾北医師会管内の医療機関で予防接種を受けることが可能となった。
母子保健事業	乳児家庭全戸訪問を民生児童委員の協力を得て実施し、子育て支援サービスの情報提供や地域による見守りづくりを実施した
地域医療推進支援事業	ホームページに医療機関の案内を掲載し、適切な医療が受けられるよう情報提供を行った。

3、まちづくり評価の結果

得られた成果 (優良点)	<p>予防接種（高齢者のインフルエンザ）の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者のインフルエンザ予防接種費用の一部を助成する事により予防接種の接種率が増加した。 (H28：57.2%→R5：63.7%) <p>肺がん検診精密検査受診率の上昇、大腸がん検診精密検査受診率の上昇</p> <ul style="list-style-type: none"> 精密検査未受診者勧奨を行うことにより、精密検査受診率が上昇した。 (肺がん検診 H28：73.1%→R5：84.4%、大腸がん検診 H28：75.1%→R5：83.9%) <p>乳児家庭全戸訪問の実施率の上昇</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センターの設置、妊娠届出時の面談や産後2週間コールの導入等により、訪問率が上昇した。 (H28：95.2%→R5：99.1%)
今後の課題 (問題点)	<p>予防接種（高齢者用肺炎球菌）の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年より毎年65歳からの5歳刻みの年齢の方で、高齢者用肺炎球菌の予防接種が未実施の方を対象に予防接種を行っているが、70歳以上の経過措置対応と、今後対象となる65歳を分けて接種率を算定すると、令和5年度は65歳が42.7%であり、経過措置対応終了後の65歳の接種率をどう上げるかが課題である。 (H28：51.7%→R5：24.1%) <p>要支援の妊産婦数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 予期せぬ妊娠、未婚、若年、経済的不安、母の精神疾患等の理由により、保健医療機関からの連絡件数の増加が課題である。 (R2：131件→R3：145件→R4：141件→R5：175件)
今後の方向性 (改善点)	<p>予防接種（おたふくかぜワクチン）の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> おたふくかぜワクチン接種費用の一部を助成することにより予防接種の促進を図り、おたふくかぜの重症化予防及び集団発生の予防を図る。 <p>健康マイレージアプリ「あいち健康プラス」による優待カード交換者数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> こうなん健康マイレージ事業へ手軽に参加できるよう、健康マイレージアプリ「あいち健康プラス」の活用を図る。 <p>がん検診受診率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳がん、子宮頸がん検診の個別受診勧奨や個別がん検診の実施期間の拡大に取り組み、がん検診受診率の向上を図る。 <p>産前・産後の支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊産婦の健康保持と子育て支援を強化するため、妊娠8か月頃に全妊婦に対しアンケートの送付と産後ケア事業の利用しやすい環境整備を図る。

まちづくり評価シート

IV	ちいきづくり分野	R6担当部・課
柱5	保険年金制度の健全な運営 － 保険年金 －	ふくし部 保険年金課

1、まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標

保険年金制度が健全に運営され、もしもの場合の生活の不安が軽減され、安心して暮らしている

指標名	保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合							
	H28 (基準値)	単位	R5	実績値の分析				
目標値	－	%	65.0	医療分野においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、国および世界全体で適切な治療や予防に対する体制確保に苦慮した期間を経験したこともあり、心因的に安心して暮らしていると感じる割合がやや後退したものと推察する。また、年金分野については、年金給付の将来的な見通しについて、高齢者の増大により現在の制度が維持していけるかという不安を内包した結果と推察する。				
実績値	58.8		55.2					
達成率 (達成状況)		%	84.9 					

個別目標 ①

被保険者の健康意識が向上し、医療保険制度の健全運営により市民が安心して暮らしている

指標名	特定健康診査受診率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	49.0	51.0	53.0	55.0	58.0	60.0
実績値	44.8		46.3	46.4	42.1	45.3	45.1	45.5
達成率 (達成状況)		%	94.5 	91.0 	79.4 	82.4 	77.8 	75.8

指標名	後発医薬品の使用割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	73.0	74.0	75.0	76.0	77.0	80.0
実績値	70.6		74.8	77.7	79.9	81.4	82.8	85.2
達成率 (達成状況)		%	102.5 	105.0 	106.5 	107.1 	107.5 	106.5

指標名	後期高齢者健康診査受診率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	→	→	→	→	→	→
実績値	51.0		49.6	49.7	48.0	48.0	48.3	47.9
達成率 (達成状況)		%	97.2 	97.5 	94.1 	94.1 	94.7 	93.9

指標名	国民年金保険料納付率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	↑	↑	↑	↑	↑	↑
実績値	71.8		74.9	76.7	77.1	84.3	82.3	82.0
達成率 (達成状況)		%	104.3 ☀	106.8 ☀	107.4 ☀	117.4 ☀	114.6 ☀	114.2 ☀

主な事務事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
保険推進事業	国民健康保険の被保険者に対し、被保険者証等の各種証を交付した。
保険給付事業	疾病、負傷、出産又は死亡に関して必要な給付を行った。
特定健康診査・特定保健指導事業	健康診査の受診についてPRLし、国民健康保険被保険者の健康維持に努めた。
福祉医療費助成事業	福祉医療受給資格者に医療費受給者証を交付することにより医療費助成を行った。
子ども医療費助成事業	子ども医療受給資格者に医療費受給者証を交付することにより医療費助成を行った。
後期高齢者医療支援事業	健康診査の受診についてPRLし、後期高齢者の健康維持に努めた。
国民年金事業	国民年金の制度に関する情報を広報こうなんに掲載し周知に努めた。市役所窓口で資格届出、免除申請、給付請求等の相談及び受理をおこない、日本年金機構へ進達した。

2、市民協働の推進状況

市民協働事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
—	—

3、まちづくり評価の結果

得られた成果 (優良点)	後発医薬品使用の促進 ・お知らせにより後発医薬品への切り替えを促し、高い使用率を達成した。 (H28 : 70.6%→R5 : 85.2%)
今後の課題 (問題点)	特定健康診査受診率の伸び悩み ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受診控えが発生し、受診率が目標値に対し大きく乖離した。 (目標値 : 60.0%→実績値 : 45.5%) 後期高齢者健康診査受診率の低下 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受診控えが発生し、受診率が低下した。 (H28 : 51.0%→R5 : 47.9%)
今後の方向性 (改善点)	高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施 ・高齢者の特性を踏まえた保健事業を実施するため、高齢者の健康づくりや介護予防の事業と連携を図る。

まちづくり評価シート


IV	ちいきづくり分野	R6担当部・課
柱6	安心・安全な地域づくりの推進 － 防災・交通安全・地域防犯 －	危機管理室 防災安全課

1、まちづくり（成果目標）の達成状況







全体目標	災害や犯罪への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている
-------------	--------------------------------------

指標名	災害や犯罪への不安が少ないと感じる市民の割合							
	H29 (基準値)	単位	R5	実績値の分析				
目標値	－	%	65.0	防災訓練や資機材助成、防犯灯補助事業などの防犯施策の継続とともに、新たに特殊詐欺防止用電話機器購入費補助を行うなど安心・安全なまちづくりを推進したものの、能登半島地震の発生や南海トラフ巨大地震への懸念、また、全国的に凶悪犯罪の被害が深刻化していることから、実績値は目標を下回っている。				
実績値	50.0		37.2					
達成率 (達成状況)		%	57.2					


個別目標 ①	災害への備えが行われている
---------------	----------------------

指標名	非常持ち出し品や食糧などを準備している市民の割合							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	45.0
実績値	27.2		－	－	－	－	－	32.2
達成率 (達成状況)		%	－	－	－	－	－	71.6
								

指標名	防災用資機材助成の申請率							
------------	--------------	--	--	--	--	--	--	--

	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	83.4	89.8	90.5	91.2	91.9	92.6
実績値	79.7		81.2	78.3	70.0	81.2	77.0	76.8
達成率 (達成状況)		%	97.4	87.2	77.3	89.0	83.8	82.9
								

指標名	危機管理体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合							
------------	-------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

	H29 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	－	－	－	－	－	40.0
実績値	23.0		－	－	－	－	－	26.7
達成率 (達成状況)		%	－	－	－	－	－	66.8
								

個別目標 ②

交通安全施策と防犯施策の推進により、安心・安全な地域づくりができています

指標名	交通事故発生件数（人身事故）							
-----	----------------	--	--	--	--	--	--	--

	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	件	566	559	552	544	536	529
実績値	581		422	380	312	322	424	392
達成率 (達成状況)		%	134.1 ☀	147.1 ☀	176.9 ☀	168.9 ☀	126.4 ☀	134.9 ☀

指標名	犯罪発生件数							
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--

	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	件	797	787	776	765	754	743
実績値	819		668	668	418	417	476	511
達成率 (達成状況)		%	119.3 ☀	117.8 ☀	185.6 ☀	183.5 ☀	158.4 ☀	145.4 ☀

指標名	地域安全パトロール実施率							
-----	--------------	--	--	--	--	--	--	--

	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	91.7	92.7	93.6	94.5	95.4	96.3
実績値	89.9		91.3	91.3	91.3	89.8	88.4	88.4
達成率 (達成状況)		%	99.6 ☀	98.5 ☀	97.5 ☀	95.0 ☀	92.7 ☀	91.8 ☀

主な事務事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
自主防災組織運営事業	各自主防災会が整備する資機材の購入助成について、世帯数に応じた助成額に見直しを図った。
★ 災害時対応事業	災害時の物資、業務、活動などの支援を、より迅速かつ充実したものにするため、防災協定の締結を推進するとともに、市民の日頃からの減災対策のため防災ハンドブックを全世帯へ配付した。
総合防災訓練事業	災害時における迅速かつ的確な応急活動の体制を整備するために、年1回総合防災訓練を実施した。（令和2～4年度はコロナ禍のため未実施）
有事関連事業	住民の生命、身体及び財産を保護することの重要性に照らして、国民の保護のための措置を的確かつ迅速に実施するため平成30年度に江南市国民保護計画を変更した。
交通安全対策事業	交通安全運動や児童の登下校時の交通指導を行うとともに、自転車乗用ヘルメットの購入費補助などの補助制度を実施した。
交通安全施設設置事業	交通事故を防止するため、道路照明灯、道路反射鏡、区画線などを整備した。
防犯対策事業	地域安全パトロール隊など自主防犯活動を推進するとともに、防犯灯の設置費及び電気料金、特殊詐欺防止用電話機器購入費の補助制度を実施した。

2、市民協働の推進状況

市民協働事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
自主防災組織運営事業	防災意識や防災活動の充実のため、各小学校下10区において自主防災訓練が実施されるよう支援を行った。
交通安全対策事業	交通安全運動などを通して、市民と行政が交通事故危険箇所を発見したり、その情報を共有することにより、交通安全の意識啓発や交通安全施設の充実を図り、交通事故を減らす地域づくりを行った。
防犯対策事業	地域安全パトロール隊と行政が、犯罪発生の危険箇所の情報を共有し、警察などとの関係機関と連携を密にして、犯罪を減らす地域づくりを行った。

3、まちづくり評価の結果

<p>得られた成果 (優良点)</p>	<p>各家庭の防災意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練や自主防災訓練等の実施により、前回の市民満足度調査時から各家庭の防災意識が向上した。 (H28 : 27.2%→R5 : 32.2%) <p>交通事故発生件数の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全啓発キャンペーンの実施や交通安全施設の整備等により、交通事故発生件数が減少した。 (H28 : 581件→R5 : 392件) <p>犯罪発生件数の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯啓発キャンペーンの実施や防犯灯設置の補助事業の推進により、犯罪発生件数が減少した。 (H28 : 819件→R5 : 511件)
<p>今後の課題 (問題点)</p>	<p>防災用資機材助成の申請率の低下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数年防災用資機材助成を申請していない地区があり、防災用資機材助成の申請率が低下していることが課題である。 (H28 : 79.7%→R5 : 76.8%)
<p>今後の方向性 (改善点)</p>	<p>地域防災力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直近数十年の間に高確率で発生が予想される南海トラフ巨大地震への対策が急務となる中、地域コミュニティの弱体化による地域防災力の低下が課題であるため、総合防災訓練の実施や地域の自主防災訓練を支援することにより、市民と行政が協力して地域の防災力を高めることで、被害を最小限に抑え危機的な状況からも速やかに立ち直ることができるレジリエンスの強化に努める。 <p>地域の安心・安全の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故や犯罪の発生件数は減少傾向にあるが、凶悪犯罪や特殊詐欺などの被害が深刻化しており、それらへの未然の対策が課題であるため、防犯カメラ設置費や特殊詐欺防止用電話機器購入費等の補助金を交付することで、市民が凶悪犯罪や特殊詐欺などの犯罪に巻き込まれることがないように対策することにより、地域の安心・安全を確保していく。

まちづくり評価シート

IV	ちいきづくり分野	R6担当部・課
柱7	市民の安心を守る消防・救急体制の充実 － 消防・救急 －	消防本部 消防総務課 消防予防課 消防署

1、まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標	消防・救急体制が整い、市民が安心・安全に暮らしている
-------------	-----------------------------------

指標名	火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合							
	H28 (基準値)	単位	R5	実績値の分析				
目標値	－	%	48.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から3.0%増加し46.8%となった。 向上した要因は職団員が様々な形で消防・救急体制を外部発信している結果であると考えられる。未達の要因を分析すると、地域別に特段傾向は認められないが40歳代以下の世代で満足度が低調傾向である。				
実績値	43.8		46.8					
達成率 (達成状況)		%	97.5 					

個別目標 ①	消防・救急体制が充実している
---------------	-----------------------

≪R6担当課≫消防総務課

指標名	消防団員（水防団員）の充足率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	99.5		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.0
達成率 (達成状況)		%	100.0 	100.0 	100.0 	100.0 	100.0 	99.0

≪R6担当課≫消防総務課

指標名	救急救命士運業者数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	17	17	19	19	20	21
実績値	17		17	17	18	19	19	21
達成率 (達成状況)		%	100.0 	100.0 	94.7 	100.0 	95.0 	100.0

指標名		消防水利の充足率						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	84.4	84.4	84.7	84.8	84.9	85.0
実績値	84.1		84.4	84.5	85.0	84.8	84.5	84.5
達成率 (達成状況)		%	100.0 ☀	100.1 ☀	100.4 ☀	100.0 ☀	99.5 ☀	99.4 ☀

個別目標 ② 防火対象物や危険物施設などの安全対策指導が徹底されている

指標名		防火管理者の選任率						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	90.3	90.6	90.8	91.1	91.3	91.6
実績値	89.8		90.4	90.6	91.1	91.2	94.3	96.7
達成率 (達成状況)		%	100.1 ☀	100.0 ☀	100.3 ☀	100.1 ☀	103.3 ☀	105.6 ☀







指標名		優良危険物施設率						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	99.7		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
達成率 (達成状況)		%	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀	100.0 ☀

指標名		住宅用火災警報器の設置率						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	69.0	70.5	72.0	73.5	75.0	76.5
実績値	66.0		70.0	72.0	73.0	75.0	73.0	71.0
達成率 (達成状況)		%	101.4 ☀	102.1 ☀	101.4 ☀	102.0 ☀	97.3 ☀	92.8 ☀







個別目標 ③

救急・救助や消火活動において、迅速・的確に対応している







«R6担当課»消防署

指標名		応急手当講習の受講者数						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	人	7,030	7,040	7,050	7,080	6,000	7,100
実績値	7,021		7,080	6,979	120	3,073	4,311	6,320
達成率 (達成状況)		%	100.7 	99.1 	1.7 	43.4 	71.9 	89.0 

«R6担当課»消防署

指標名		処置範囲拡大救急救命士運用者数						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	人	16	16	17	18	19	21
実績値	16		15	15	15	19	19	21
達成率 (達成状況)		%	93.8 	93.8 	88.2 	105.6 	100.0 	100.0 

«R6担当課»消防署

指標名		心拍再開率						
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	—	%	46.7	46.8	46.9	46.9	46.9	47.0
実績値	46.7		40.5	43.5	25.9	27.0	26.1	33.8
達成率 (達成状況)		%	86.7 	92.9 	55.2 	57.6 	55.7 	71.9 

主な事務事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
消防学校等入校事業	消防職員としてあらゆる災害に対処できるように愛知県消防学校等に入校させ資質と技術の向上を図った。
救命救急士養成事業	高規格救急自動車を適正に運用し、救命率の向上を図るため、年齢構成などを考慮して救命救急士の養成を行った。
★ 職場環境形成事業	女性用仮眠室の改修工事、現場活動用資器材の充実等、女性消防職員が働きやすい環境づくりに努めた。
★ 消防団充実強化事業	女性消防団員の装備、活動支援等の充実強化に取り組み、安心して消防団活動に従事できる環境づくりに努めた。
★ 防火水槽震災対応化事業	震災時において消防水利を確保するため、経過年数が古い防火水槽内に鋼製タンクを設置するなど耐震化に取り組んだ。
★ 防火管理事業	防火管理者が未選任の事業所に対して指導するとともに、消防訓練を効果的なものにするため消防職員立会いのもと訓練を実施するよう努めた。
防火対象物立入検査事業	事業所に設置されている消防設備等が効果的に使用できるよう立入検査を実施し、その際に防火管理体制について助言することなどにより、よりきめ細やかな指導に努めた。
危険物製造所等立入検査事業	立入検査を継続して実施することで不備事項を改善させ、適正な維持管理に繋げていくよう努めた。
救急事業	増加する救急需要に対応するため、資器材の充足を図るとともに、気管挿管、処置拡大救命士等の認定救命士を計画どおり養成した。
救助事業	救助活動を円滑に行うために、救助資器材の整備保全をし、はしご車による建物への接塔調査を行った。
★ 応急手当普及啓発事業	実施基準の改正を行い時間短縮することで市民へ円滑な講習内容を提供し、事業所に対しては普及員を育成し応急手当の普及啓発活動の推進に努めた。
警防事業	火災による被害を軽減するため、消防用ホース等資器材の更新、消防水利の維持管理に努めた。
指揮・指令事業	様々な災害に対応すべく、住民及び建物等のデータを管理、指令機器の整備保全をし、実災害時には部隊の運用を行った。

2、市民協働の推進状況

市民協働事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
火災予防普及啓発事業	各種事業を開催していき、火災予防の普及啓発を図り、防火についての正しい理解と認識を深めていく。

3、まちづくり評価の結果

<p>得られた成果 (優良点)</p>	<p>消防団員(水防団員)の定数維持 ・全国的に減少傾向にあることから、処遇改善に取り組むなどして定数維持に努めた。 (H28 : 200人→R5 : 198人)</p> <p>救急救命士運用者数 ・職員からの養成、資格取得見込み者を新規採用することで増員を図った。 (H28 : 17人→R5 : 21人)</p> <p>防火管理者の選任率 ・該当事業所に対し資格取得を促した結果、目標を上回ることができた。 (H28 : 89.8%→R5 : 96.7%)</p> <p>優良危険物施設率 ・毎年度、全ての危険物施設について立入検査をすることにより不備事項を改善させ、安全な維持管理に繋げることができた。 (H28 : 99.7%→R5 : 100.0%)</p> <p>防火水槽の震災対応化 ・既存防火水槽20基の耐震化を令和5年度までに14基施工した。 (H28 : 61基→R5 : 75基)</p>
<p>今後の課題 (問題点)</p>	<p>火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合 ・特に40歳代以下の世代で満足度が低調傾向であることから、令和5年度の目標値48.0%を下回った。 (H28 : 43.8%→R5 : 46.8%)</p> <p>住宅用火災警報器の設置率 ・この指標により市民の防火意識度を測定する指標としているが、令和5年度の目標値76.5%を下回った。 (H28 : 66.0%→R5 : 71.0%)</p> <p>耐用年数を過ぎた防火水槽の整備 ・令和5年4月1日現在435基ある防火水槽のうち、50年以上経過しているものが250基あり全体の約57%を占め、今後も増加傾向にある。</p>
<p>今後の方向性 (改善点)</p>	<p>消防体制の充実強化 ・有事の際誰もが平等に消防・救急サービスが受けられるよう消防力の整備指針に沿うように、人員や施設等の増強を図る。</p> <p>「江南市住宅用火災警報器設置費補助金」の周知 ・令和5年7月18日から施行したこの補助金制度を広く周知することで、設置率の向上を図り、市民の防火意識を高める。</p> <p>防火水槽の整備計画 ・防火水槽の整備には莫大な費用がかかるため、消防水利が適正に配置されるよう、防火水槽の重要度、敷地所有者、修繕歴などを考慮し、更新、延命、撤去等の判断基準を設け、整備計画をたてる。</p>